工 程 表 と 主 な 取 組

工程表（地域、区役所・市役所、行財政の現在の姿と将来の姿）

【地域の姿】

現在の姿

- 地域のつながりが希薄化
- 地域活動への参加者層が固定化・高齢化
- 孤独死や児童虐待など複雑深刻な問題が顕在化
- NPO 等の市民活動団体や企業の社会貢献活動が増加
- 地域活動への「参加・協力」意向のある市民が増加

取組途上の姿

- コミュニティ意識の高まりにより地域活動への参加者が増加
- 地域のニーズに応じた活動により、きめ細かなケアができ、ムダのないサービスが提供される
- 地域活動協議会の形成など、「参加・協力」意欲のある市民の参加により、地域活動が活性化
- 地域活動団体と NPO 等の市民活動団体や企業との連携が進む
- 市民活動の経済的自立の度合いが高まり、より多くの担い手が活動している。

（主な支援事業）
地域活動協議会等への支援、地域交付金の創設、社会的ビジネスによる公共の再編　など

将来の姿（概ね 10 年後）

将来にわたって活力ある地域であるために

- 地域に合った取組が進み、積極的な地域活動が広がり、安心安全な地域
- 区役所からの地域活動への支援を活用し、地域の活動が活性化

【区役所・市役所の姿】

現在の姿

区役所では、多様な相談を関係部署に振り分けるにとどまっている。

【窓口業務】
・区役所での窓口や手続きが分かりにくい
・窓口での証明書発行などに時間がかかる

【地域活動支援】
・活動はテーマごとに組織された団体が中心
・活動への支援は、区単位の会議やイベント中心

市役所が縦割り組織ごとに、一律一斉に事業を実施しており、地域ごとの課題やニーズ、活動の把握が十分にできない。

取組の内容

区役所の生活総合支援機能の強化

【生活支援】
- 多様な生活課題への関係部署との調整などによる対応力の強化
- 窓口サービスの向上と業務効率化

【地域活動支援】
- コミュニティづくり、防犯防災など地域課題の解決に向けて支援
- 区役所と地域とが協働した課題解決
- 自律的な地域運営の仕組みづくりのバックアップなど住民自治の促進

局による区役所支援機能の強化
協働まちづくり室と各局への地域支援・協働推進窓口を設置

- 市役所全体で地域と区役所を総合的に支援

【区政会議】
・区民の意見と評価で充実の区政

将来の姿（～５年後）

身近なサービスが充実し、開かれた区役所・市役所とするために

- 市民へ効率的で満足度の高い生活支援サービスを実施
- 区役所への権限が強化され、区の独自取組のもとで地域活動を支援
- 区政会議など市民との対話のもとで、協働による区政の運営

【行財政の姿】

現在の姿

・平成 23 年２月に公表した「中期的な財政収支概算」では、このまま推移すると平成 30 年度までの８年間で約 1,200 億円の収支不足が生じ、更なる財政構造の強化が必要

取組の内容（～５年後）

・「中期的な収支均衡に向けたフレーム」の実現をめざし、収入の確保や、総人件費の抑制、内部管理費等の削減、外郭団体等の見直し、市民利用施設等維持管理費の抑制、国基準・他都市水準を上回っている事業や比較困難な事業の点検・精査、さらに、公共事業のあり方の検討や、その他の施策・事業の選択と集中の徹底を図り、５年間で約 600 億円の収支改善

国基準・他都市水準を上回っている事業や比較困難な事業の点検・精査

将来の姿（概ね 10 年後）

市民生活・活動をしっかりと支え、信頼される区役所・市役所とするために

補てん財源に依存しない、持続可能な大阪市を支える行財政・基盤を構築